



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社大水
代表者名 代表取締役社長執行役員 山橋 英一郎
(コード: 7538 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部経営管理部長 山本 敬史
(TEL. 06-6131-5190)

大水グループ「中期経営計画（2023年度－2025年度）」に関するお知らせ

当社は、水産物卸売業を取り巻く様々な環境の変化に対応し、生産者と生活者の求めるものを最適につなぐ水産物を中心とした卸売企業として持続的な活動をすべく、2030年度のあるべき姿を描き、その姿に到達するために、まず2023年度から2025年度に実行すべきテーマを定め、3カ年を対象とした中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の企業理念

大水グループは、自然の恵みに感謝し、古（いにしえ）からの食文化を守り、
新たな食の創造に挑戦していきます

【企業理念に込めた思い】

- ・水産資源の持続的利用と地球環境の保全につながる思い ⇒ 「自然の恵みに感謝する」
- ・歴史ある日本の食文化の伝統や卸売市場の役割を支えていきたい思い
⇒ 「古（いにしえ）からの食文化を守る」
- ・様々な環境変化を先取りし、食を通じて人々の健康と幸福に貢献したい思い
⇒ 「新たな食の創造に挑戦する」

2. 2030年度のあるべき姿

『 生き活きと水産物の価値をお客様に提供し続ける企業 』

としました。これは、卸売市場の強みを発揮し、水産物卸として様々なお客様の要望に応え、水産物の価値をお届けしていること、また従業員一人一人が挑戦的・主体的に生き活きと仕事に取り組んでいる状態を表しています。

3. 中期経営計画について

2030年度のあるべき姿を基に、実現のための4つのポイントと2025年度の数値目標を決めました。

(1) ポイント

- | |
|---|
| ① 関西で確固たる基盤を有し世界の水産市場をターゲットに販売していく |
| ・社内組織の連携を図り、顧客視点で原料（産地）、加工、顧客を最適につなぐ仕組みを多くつくる |
| ・海外販売取引の拡充を図る |
| ② 収益力を高めて、質の向上を図る |
| ・生産性を高めローコストで運営できる業務体制(業務変革と個人の能力の向上)にする |
| ③ より挑戦的・主体的に取り組む組織風土のもと、より働き甲斐のある企業を目指す |
| ・新しい人事賃金制度の運用と定着を行う |
| ④ ステークホルダーから信頼される企業を目指す |
| ・コンプライアンス・ガバナンス体制の強化を継続する |
| ・環境や安全・安心への取り組みを行い、広報・社会貢献活動を充実させる |

(2) 2025年度 数値目標（連結ベース）

売上高	1,040億円
営業利益	690百万円
経常利益	790百万円

※本資料の業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成されています。様々な不確実性、潜在リスク、自然環境変化等の要因の変化により、予想とは大きく乖離する可能性を含んでいますことをご了解ください。

以上